

オーストラリア東海岸 航海記

2018/8/17-8/25 9日間

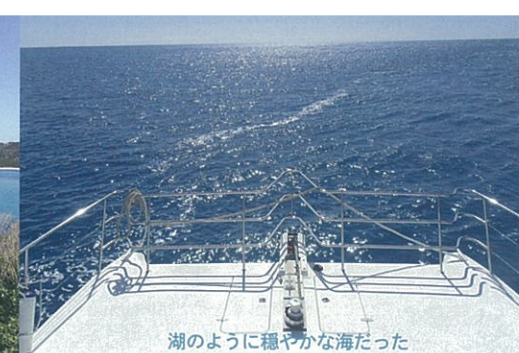
Text: ISPA パワーボートスクール インストラクター 宮川 和之



Cid Harbourの夕日



絶景の White Heaven Beach



湖のように穏やかな海だった

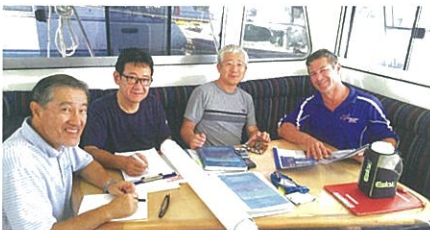
8/17 fri オーストラリア到着 Abell point Marina

目的地の『Abell point Marina』へ屋過ぎに到着。全員集合。その後チャーター会社のスタッフ、エドさんからポートイントロダクションを受ける。なんと、初日に向かう予定だったヘイマン島が台風で大きな被害を受けてしまい保留が出来ないと知らされ、航海計画を変更する事に。

エドさんの勧めで初日は『Cid Harbour』へ向かう事にした。ここから有名な観光地『Hamilton 島』へ向かうよう航海計画を立て直し、近くのマーケットで食材を購入、船に積み込む。船はカタマラン艇の 30 ft 位。上陸用のテンドーもあるが、船に積み込まないで曳航しながら走る。その後、エドさんと一緒にムアリングの練習。今日はマリナーで一泊し、買い出しを済ませる。いよいよオーストラリアの海へ。



世界最大の珊瑚礁、オーストラリア・ウィットサンデー諸島で、グレートバリア・リーフをクルージングしながら、ナビゲーションスキルを習得します。



左から伊藤さん、小島さん、塘内インストラクター、チャーター会社のエドさん。



ムアリング練習前の1枚。綺麗な色の海を走る事が出来るだけでテンションが上がった。



ナビとヘルムを交代しながら進む

8/18 sat 出港 Cid Harbour

チャーター会社のエドさんともう一度ポートの確認を行う。①朝 8時から 8時 25分までにチャーター会社に無線連絡すること。今日の行先、船と乗員のコンディションを報告すること。ここで目的地までの天気予報や目的地の詳細な情報などを教えてくれる。マリナーへ係留する場合、予約をその場で済ませてもらえる。迅速で親切なサービスだ。

②16時に現在地と明日の目的地を無線で必ず連絡する事が義務付けられており、16時の連絡が途絶えると、捜索願を出すことがあるらしい。利用者の安全を第一に考えられており、安心感が芽生えた。

1000マリナーを出港。テンドーでエドさんがついてくる。マリナーの外にあるムアリングブイを使ってムアリングの練習。ブイについてるロープをポートフックで引き上げ、クリートに引っ掛けるだけの簡単な作業だ。「perfect!」とのエドさんから褒めの言葉をいただいた(笑)

1030ムアリングを解除して早速出港。途中「Pioneer Rocks」と呼ばれる岩山の近くを通過して、「Unsafe

Passage」なる狭い航路を通過。眼前に広がる島々はどれも綺麗。テンドーを引いて走るため、速度は7~8ノットで走る。周りを見ると、どの船もスピードを出していない。スピードを出しているのは釣りに出かける小型船やウィットサンデーに出掛ける船だけだ。カタマランのヨットが数多く走っているがセーリングをしている船は殆ど無かった。1600に『Cid Harbour』でアンカリング。明日から荒天の予報。風次第では一度『Abell point Marina』へ帰港しようと相談する。

8/19 sun Cid Harbour → Abell point Marina

0600に起床。風速はおおよそ 26 ノット程度。次の日はさらに風が強まる予報であったため、マリナーへ帰港する判断をした。途中、海面から間欠泉の様に潮が上がり、クジラ



チャーター船 DATA

船名: Mojo 型式: Scimitar1010 搭載エンジン: ヤンマー 110hp x 2 基

がいるのだと気づく。10mくらいのザトウクジラだった。初めて近くで見ることができ、小島さん、伊藤さんが大興奮で写真を撮る中、私はあまりの大きさに接触が怖かった。1500に『Abell Point Marina』着。水の補給を行う。夜はマリナーのレストランでパスタを食べる。このレストランは味付けが濃い。

8/20 mon Abell point Marina → FUNNEL BAY

0600起床。晴天だが風速16m。できればマリナーにもう1泊したいところだが出港しなければならないため0930に出港した。目的地は約14マイル先の『Nara INLET』。

しかし、荒天のため目的地を変更せざるを得なかった。パイオニアロックを越えた先の『FUNNEL BAY』へ避難。NARA INLETへは明日向かう事に。夕食は大盛りパスタで英気を養う。ここでディンギー(テンドー)の操船練習。砂浜へアンカリング。小島さん、覚えるの早いです。

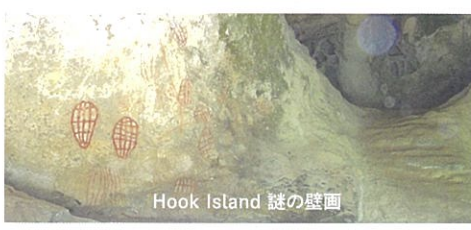
8/21 tue FUNNEL BAY → Nara Inlet



オーストラリアのラテラルシステム

GPSの表示

パイオニアロック、アンセーフパッセージを抜けて『Nara Inlet』の入り口まで到着。オーストラリアのラテラルは緑色の三角形、赤い四角形で表される。日本と色が逆だ。そしてここは航路がかなり狭い。慎重に進む。『Hook Island』の国立公園の洞窟には、オーストラリア先住民アボリジニの貴重な壁画(ロック・アート)が残されている。そこへ行くにはテンドーで浜に乗りつける。小島さん、伊藤さんともに練習の成果を発揮した。小島さんの操船で、全員で壁画を見に行ったのが描かれているのかは全く不明。清水タンクの残量が心もとない。インターネットが繋がらないので、情報の取得は無線のみとなる。

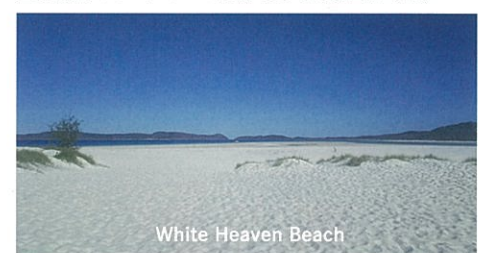


Hook Island 島の壁画

8/22 wed Nara Inlet → Hamilton harbour → White Heaven Beach → Tongue HILL

夜、寒くて目が覚めた。日本では見ることができない星空に感動。水面に星が写りこんで宇宙空間の様だった。今日は Hamilton 島の『Hamilton Island Marina』へ向かう。オーストラリアを代表するリゾート地のマリナーだが、この日のマリナーは一年で最も忙しい1週間、「Yacht Week」なるイベントでヨットがごった返していた。水だけ補給してもらい、すぐに出港。ここマリナーの出入港はスタッフが小型のインフレーターで案内してくれたので、とても安全に出入港をすることができた。

いよいよグレートバリアリーフを航行し、「ホワイトヘブンビーチ」へ向かう。途中でイルカの群れと遭遇し、サンゴが作る幻想的な海を見て感動。遠目でわかる白い砂浜「White Heaven Beach」を横目に見る。見ながら HILL INLET の『Tongue Bay』に1445ムアリング。およそ6時間40マイルの航海だった。Tongue Bayで上陸し、砂浜へ向かう。砂は柔らかく真っ白。とても細かいので小麦粉を踏んだ時の感触に似てると思う。世界最高のビーチの一つは紛れもなく楽園だった。



White Heaven Beach

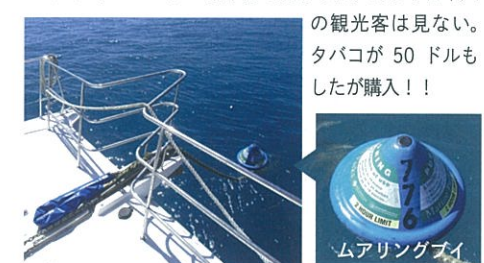
8/23 thu Tongue Hill → Hamilton Island Marina → Cid Harbour → Mocona INLET

もう一度『Hamilton Island Marina』へ向かう。途中でランニングFIX、2ポイントFIX3ポイントFIXのおさらい。たくさん島、山々があるので、FIXを取りやすい。1300に『Hamilton Island Marina』に到着。ヨットレースで300隻を超えるヨットがいた。入港を諦め、1425近くの『Cid Harbour』でアンカリングと運めのランチ。明日は Abell point Marina の近くでムアリングしていなければならないので、今日はもう少し遠くまで行こうと、未だ行っていない場所の『Mocona Inlet』へ。『Nara Inlet』の隣にある入り江で、ここも綺麗な星空を見ることが出来るアンカリングポイントだ。どこの入り江も10隻程度の船がアンカリングしている。マリナーがとても生活に浸透していると感じる。

8/24 fri Mocona INLET → Abell point Marina

今日から『Abell point Marina』への帰路。Hook Island と Whitsunday Island の狭い航路、「Hook Passage」を通る。

White Heaven Beach が直ぐなので、定期船が通っている。地平線を眺めてオーストラリアの海をしばらく眺めるとクジラに遭遇した。クジラにさよならの挨拶をして Abell point Marina までは距離があるので途中の『Day Dream Island』に向かう。途中で今度はイルカの群れと遭遇。一日でイルカとクジラに遭遇した。1315『Day Dream Island』でムアリング。昼食の後、Abell point Marina の近く「エアリービーチ」でムアリング。テンドーでエアリービーチの繁華街を見学した。あまり日本人



の観光客は見えない。タバコが50ドルもしたが購入!!

ムアリングブイ

8/25 fri 最終日

1000『Abell point Marina』到着。港内の広い場所でチャーターボートのスタッフがお出迎え。給油を済ませて帰港。9日間・約220マイルの旅。あつという間の9日間は海にも人にも感動しきりだった。観光先進国のサービスは「安心・安全」が完璧に管理されていて、マリナーのスタッフとしてもとても勉強になる事が多かった。初めての海外クルージングを学んだ国がオーストラリアで良かったと思う。一つ残念だったのは、ハミルトン島に上陸できなかった事だが、一つくらい残念な事がないともう一度行きたいと思わなくなりそう(笑)。最終日は400gのTポンスステーキで締め!



拠点マリナー紹介

【Abell Point Marina】

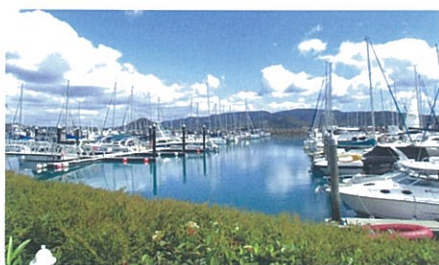
Shingley Dr, Airlie Beach QLD 4802

「North village」と「South village」に分かれている。North側は20mオーバーの大型艇が多く係留されており、South側は30~45ftくらいまで係留できそうな桟橋。すべての桟橋に陸電、水道が完備され、桟橋はコンクリート製。チャーターボート会社が5つくらいある他、レストラン、カフェ、ダイビングショップ、船具店、ヘリポートがある。

<http://abellpointmarina.com.au/>



マリナー出入港口付近では数多くの船がムアリングしている(無料)



Southvillage側。カタマラン艇がとにかく多い! シングルバースとダブルバースが混在。



Southvillage側の建物。ショップ、チャーター会社の事務所等が入る。一般の人も多く来ていた。

ボートを始めた方! 初心者の方!
ボートを安全に、安心して
自在に乗りこなせる技術を学びませんか。
2つのスクールボートを体感して学べます!

パワーボートスクール

step 1 30ピボットクルー step 2 デイズキッパー

4日間 ¥120,000 (税別)

スクール艇①
38ft インボード・シャフト艇
YAMAHA 38 Convertible

スクール艇②
26ft アウトボード・船外機艇
NISSAN SUNCAT 26

お問い合わせ ☎ 045-776-7594
イーストハウス

スクール詳細・年間スケジュールはこちらで確認できます!

www.ybmarina.com/ispa/power_boat
YBM TOP ページ > 海遊びをしよう > ISPA パワーボートスクール